

## 知的財産事例

### 株式会社マリンナノファイバー

# 新素材の魅力を幅広い業界に伝えたい 大学との連携 & ユニークな発想力で一般向け製品も開発

#### 事業内容

2016年設立

キチンナノファイバーの研究開発

キチンナノファイバーの製造・販売

#### 知的財産権と内容

特許第5186694号	キチンナノファイバーの製造方法、キチンナノファイバーを含む複合材料および塗料組成物、ならびにキトサンナノファイバーの製造方法、キトサンナノファイバーを含む複合材料および塗料
特許第5974407号	キチンナノファイバーまたはキトサンナノファイバーを含む化粧品、入浴剤および医薬組成物
特許第7010017号	キチンナノファイバーを含む魚肉練製品
商標第5749044号 第5749045号 第6275233号	マリンナノファイバー（標準文字）
商標第6283576号	カニダノミ（標準文字）

他 特許権2件、商標権5件

(2024年6月現在)

ACTIVITIES & ACQUISITION IS INTELLECTUAL DATA



代表取締役 岩田 悟さん

#### 新素材を広める目的で設立した 大学発のベンチャー企業

当社は2016年、化学・生物応用工学の専門家である伊福伸介教授が開発した「キチンナノファイバー」の製造技術を事業化する目的で立ち上げられた大学発のベンチャー起業だ。元々は伊福氏が鳥取大学に赴任した際、地域の特産品である『カニ』に注目し、食品以外で有効活用できないか検討したのが研究のきっかけだった。現在の岩田社長は、星光PMCにて執行役員、および技術本部長として経済産業省からも成長事業と目されていたセルロースナノファイバーの事業化を進めていた。その計画の過程で行われる会議等で伊福教授と顔を合わせる機会が多く、より幅広くキチンナノファイバーを広めるための引受先を探しているとの話を聞いたという。そこで自社の事業とも親和性が高かったことから、ぜひ協力したいと2023年にグループ化し、現在の岩田社長が代表取締役に就任した。

#### ペット分野や化粧品など 幅広い用途が見込まれる新素材を製造

代表的な製品は、カニの殻（外皮）に含まれる「キチン」という糖質をナノレベルの細い繊維として抽出した『キチンナノファイバー』。カニが研究機関である鳥取大学の所在する鳥取県の特産物であることに加え、キチンは天然由来、かつ地球上に豊富に資源が存在するので、有効活用できるよう広めていきたい、との想

いで着目した。本来キチンは水に溶けにくい素材だが、伊福教授が開発した特殊な技法でナノファイバーという微細な繊維にすることで、水によく馴染むジェル状の分散液に仕上げられている。これはぷるっとした高粘度の質感で、半透明かつ微細な構造のため様々な用途に活用可能なのが特徴だ。また、優れた抗酸化作用が期待できることから、現在は保水力を活かした化粧品や犬猫用のオーラルケア製品、ハンドクリームなどに応用されている。特に動物病院からは食品を使用しているという安心感や、犬や猫が舐めるだけで口腔ケアができるという手軽さ、飼い主用として薦められる商品（ハンドクリーム）も展開しているなどの点から好意的なフィードバックを受けることが多いため、今後は更に動物系の製品に力を入れて行く方針だという。

#### 大学との共同出願による効果と 商標取得の重要性

特許に関しては大学と共同出願を行い、維持費等の費用を当社が負担するという形を基本としている。競願先である鳥取大学との繋がりは深く、知的財産権の取得に必要な手続きはもちろん、製品の効果を客観的に知る上でも助けられているようだ。大学との協力体制は「先端的な材料を扱っている」というハイテクなイメージにも繋がるため、ブランド力の向上にも役立っているという。また、当社は特許とは別に社名である「マリンナノファイバー」や、カニの成分を使用して

いることを効果的にアピールする「カナダノミ」、  
「スコヤカニ」といったユニークな商品名で商標を取  
得。物質名より商品名の方が一般に覚えてもらいやす  
いと考えてのブランド名だったが、期待通り親しみを  
感じてくれていると思う、と岩田社長は語った。

### 知財取得後のプロモーション活用には課題も



大学やINPITをはじめとする支援機関の協力により、知  
財取得における苦労はあまり記憶にないという岩田社  
長。しかし、一方で「取得後のプロモーションとして  
知的財産を活用しきれていないと感じている」との課  
題も話した。

技術や商標の独自性、貴重さには納得してもらえるが、  
ナノファイバーの抽出自体手間がかかるため、どうし  
ても料金的なハードルが高くなってしまうという。そ  
こで、今後はコストよりも製品の効果・効能に重きを  
置いてもらえる医療分野をターゲットとしていく戦略  
だ。まずは国内から、広くキチンナノファイバーの魅



抽出されたマリンナノファイバー。半透明で滑らかな質感から、幅広く活用しやすい

力を伝えていきたい、と岩田社長は語った。

### 知財取得を目指す経営者へのメッセージ

注目!

「前職で研究所に勤めていた頃から、知的財産権は独  
自性を守る上で必要なものだ」と教育を受けた。製品の  
製造・販売にあたっては、知財を取得して権利化する、  
という流れが自分の中に当たり前にあったことは大き  
い」と岩田社長は話す。「知財がない状態は、言うな  
れば裸で戦うようなもの。模倣品から自社の製品を守  
り、会社を持続的に成長させるためにも、早めにとっ  
ておくことをおすすめしたい」と。また、「ビジネス  
の世界では“商標”をどう抑えるかがカギとなる」と  
も併せて語った。社員たちも自らネーミングに参加す  
ることで、より商品に愛着が湧き、仕事へのモチベー  
ションに繋がるケースもある。最初から弁理士を訪ね  
るのは費用面でも躊躇してしまうと思うので、まずは  
INPITのような支援機関にぜひ相談して欲しい。



「カナダノミ」のオールインワンジェルは、インパクトのあるロゴが目印



### 知的財産活用のポイント

#### アカデミックな側面と商業的な思想 双方の強みを両立

当社は「大学発のベンチャー」として、アカデミーとしっかり  
とした協力体制を取っている点が特徴的である。また、セル  
ロースナノファイバーという類似性の高い事業を進めていた星  
光PMCと縁があったことも、事業化に結び付いた大きな要因だ。

技術開発・権利化・事業化の全てを独自で行うのではなく、産  
学官の連携により、多様な視点から知恵を補う経営ができてい  
る。また、科学的な素材をそのまま広めるのではなく、ペット  
用品や化粧品といった一般的に身近な製品に落とし込んでいる  
のも工夫が窺える。“カニ”になぞらえた個性あふれる商標は、  
ダイレクトなロゴと並ぶと存在感も大きい。商標をどう抑える  
かがカギ、との岩田社長のポリシーが感じられるデザインだ。

## COMPANY DATA

取材：2024年6月

企業名：株式会社マリンナノファイバー 所在地：鳥取県鳥取市湖山町北1-419 セレナールZUMI 1F

電話番号：0857-28-5228 URL：<https://www.marine-nf.com/> 創業：2016年 資本金：2000万円 従業員：15名

